



標津町社協豆だより



発行/令和6年 1月 1日

赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい運動 ご協力ありがとうございました



10月1日より始まりました赤い羽根共同募金運動、並びに12月1日より実施いたしております歳末たすけあい募金につきまして、12月31日をもちまして募金運動が終了いたしました。ご協力を賜りました皆様に心よりお礼申し上げます。

赤い羽根共同募金につきましては、次年度の福祉事業への資金として募金総額の約8割が北海道共同募金会より本町に配分され、その用途につきましては、標津町共同募金委員会審査委員会にて審議いたします。また、歳末たすけあい募金につきましては、新しい年を迎えるにあたり支援を必要としている方々に歳末見舞金として民生児童委員を通して配付いたしました。皆様にご協力いただきました募金の実績額につきましては、社協だより3月号にて報告させていただきます。

標津町共同募金委員会 会長 今野 千昭

茶志骨地区いきいき元気レクリエーションを開催しました！



去る12月22日(金)、茶志骨地区町内会連合会の高齢者を対象に、すずらん憩いの家において「いきいき元気レクリエーション交流会」を開催しました。

男性2名、女性9名の合計11名の参加者が、8種目のレクリエーションを通して、元気良く交流することができました。本事業は、社協で行っている「高齢者等交流活動助成金」を活用しており、紅白のチームに分かれ、どのゲームに対しても参加者全員、真剣な中にも笑いがあり、皆さん仲良く楽しみながら終始和やかな雰囲気のもと行われました。最初のゲーム、バグゴーでは1番手の方が2人共パーフェクト(4投共穴)を達成しました。また、今回初めて実施したカーレット(カーリングの室内ミニチュア版)においては、徐々に慣れてきて大いに盛り上がっていました。結果につきましては、5勝2敗1分で紅組が勝利しました。



いずれにしても参加された皆さん、大変お疲れさまでした。

標津町社会福祉協議会の願い

ひとは、いかなる世(家庭、社会等)でも、一人では生きていけない。そのために「助け合い・支え合い」が必要である。「助け合い・支え合い」には「助ける人・支える人」と「助けられる人・支えられる人」で成り立ち、「自惚(うぬぼれ)」も「卑屈(ひくつ)」もない人間関係であり、同時に「身の丈の支援」を共通認識し、「お互いさま」「ありがとう」が原点である。

あんしんサポート事業 実施しております！

平成28年12月12日に「あんしんサポートセンター」を立ち上げ、活動してきました「あんしんサポート事業」も、昨年の12月で丸7年が過ぎ、8年目に入りました。

発足した2・3年目には、年間で80件前後の依頼がありました。ここ数年はコロナの影響から依頼も30件弱と、ピーク時の四分の一程度となっています。ただ、通年での窓拭き始め年末の神棚清掃等は、毎年、必ず数件より依頼があるところです。ちょっとした困りごとがある方は、

85-7776まで連絡
下さい。相談に乗ります。



～ご寄付ありがとうございました～

川北の渡部衛様、安達京子様、町内「しれとこ模型愛好会」代表藤山豊様よりプルタブ、また川北中学校様より古切手、(有)山崎板金様よりプルタブと古切手の寄付がありました。

前回（平成26年8月）、700Kgで車椅子（自走式アルミ軽量）を購入してから9年4ヶ月が経過しました。この間、皆様のご協力によりまして令和5年6月6日現在の総集荷量は650Kg〔専用袋(25Kg)にして26袋〕となっております。



従って、700Kgまで、あと50Kg(2袋)となりました。

今後とも、ご協力いただきますよう宜しくお願い申し上げます。



献血のお知らせ

令和6年 2月29日(木)

今年度最後の移動献血車「ひまわり号」が来町します。

実施会場並びに時間等につきましては、豆だより2月号にてご案内致しますので、是非、ご協力の程、宜しくお願い致します。

町内の5校に設置いただきました赤い羽根募金箱を、今年は12月21日に回収させていただきました。

その中で、標津小学校では児童会役員の手から今野共同募金委員会会長に募金箱が手渡されました。



今年度も北海道コカ・コーラボトリング様より、飲料(10箱)をご寄付いただきました。

毎年のごことであり、大変ありがたいことです。以下の町内児童館・福祉施設等、5施設へ配布致しました。



キラリ児童館



川北児童館



キラリ工房



GH 夢ふうせん空



はまなす苑

発行 標津町社会福祉協議会

標津町北1条西5丁目6番1-2号 保健福祉センターひまわり内
TEL: 0153-82-1212 FAX: 0153-82-1530